

嶺北E C O F L U G E L Sです！（高知県立嶺北高等学校生徒自主活動組織） 活動報告（ボランティアアワード2016参加以降）

作成者 嶺北高校教諭 上岡

いつもお世話になっています。嶺北E C O F L U G E L Sが、ボランティアアワード2016参加後に行った主な活動について、ご報告させていただきます。

地域の小学校との連携活動・出前授業

10月13日（木）、今年度はじめて実施する取り組みとして、総合的な学習の時間（本校では「未来学」という講座名です。）を利用し、吉野川の水質調査及び嶺北地域の水環境についての話し合いを、地域の小学校（本山町立本山小学校）と共に行いました。

小学生との協働作業はとても楽しくて、指導に当たった私も含めて、時間があっという間に過ぎていきました。

この水質調査を通して生徒たちは、採集した水生生物による指標では良い結果が出たものの、COD（化学的酸素要求量）パックテストでは予想していたよりも数値が良くなかった、なぜなのか、という新たな疑問、気づきを得ることができました。この背景を探っていくことが、さらに生徒の学びを深めることにつながるのではないかと考えています。

小高連携を進めるに当たっては、慶応大学附属湘南藤沢高校さんがボランティアアワード2016で発表されていた内容が参考になりました。わたしたちは、この連携活動を次年度以降も行っていくつもりです。



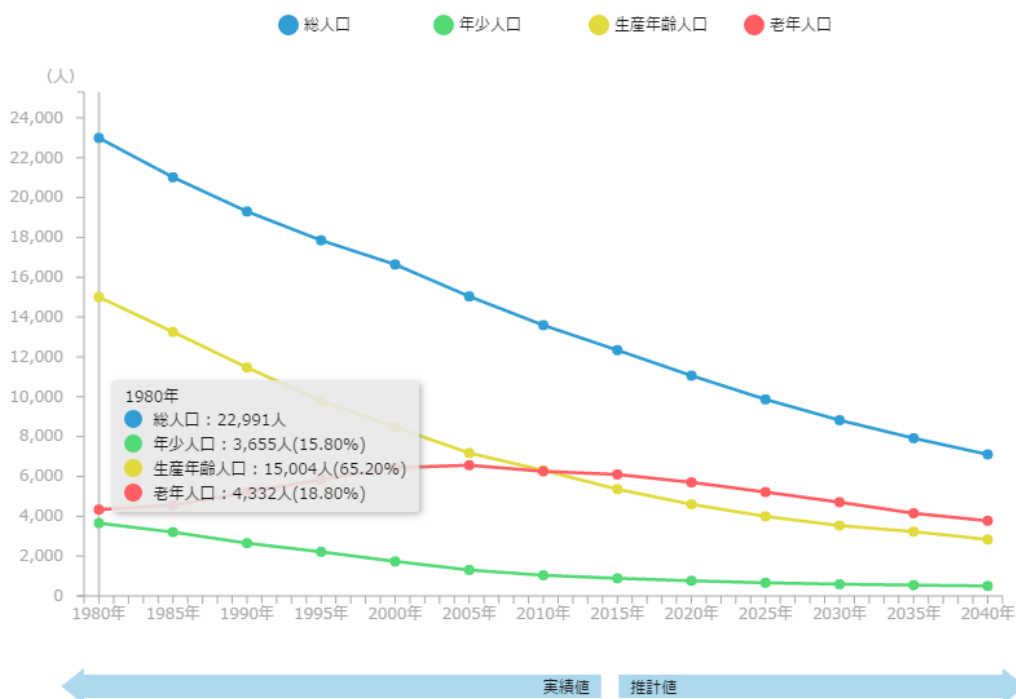
（水生生物による水質検査と話し合いの様子）

RESAS（地域経済分析システム）

地域創生・地域活性化のヒントを得るツールとして、内閣府が公開している、RESAS（地域経済分析システム）の活用について出前講義を受けました。RESASでは、国の機関が集積した膨大なデータを、ネット上で簡単な操作をすることで、様々な切り口から考えられるように加工できます。その技術に驚くと共に、生徒たちが生活している嶺北地域の将来人口の余りの少なさに愕然としました。

「自分たちの住む地域の活性化」を、生徒自主活動でのひとつの目標としている生徒たちは、自分たちなりにプランを考え、県のコンテストに応募しました。

残念ながら予選通過はなりませんでしたが、今後の活動に生かせるツールを学ぶことができました。



(RESASで作成した嶺北4ヵ町村の実測人口と将来推定人口図)

学習発表会での活動発表

地域の文化ホール（本山町プラチナセンター）において12月20日（火）に開催された学習発表会「平成28年度高知県立嶺北高等学校 ザ・ファイナルレポート」の中で、EC OF LUGELLSの活動について発表を行いました。「ファイナルレポート」では、嶺北高校生が、生徒会や生徒自主活動組織に加入して、それぞれ活発に活動している様子を、観客のみなさんに伝えることができました。

生徒たちは、保護者や、嶺北高校に関わってくださっている方、地域の小学生、中学生の

前での発表に緊張したことでしょう。しかし、自分たちの活動に関心を持ってもらえる機会を得て、うれしさも感じたようでした。



(嶺北高校ファイナルレポートでの発表の様子)

今後の予定

平成29年1月21日(土)、物部川流域の3市(南国市・香南市・香美市)や教育委員会が中心となって結成された「物部川流域まるごとエコシティプロジェクト連絡会」が実施する交流会、「第3回 美南国に生まれ!子どもECO活動交流会」に今年も参加する予定です。当日は、ポスターセッションを通じて、高知県下で活動している児童・生徒との交流を深めたいと考えています。

今後も、わたしたち高知県立嶺北高等学校・嶺北ECOFUGELSへのご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。